

## 知ってましたか?トウモロコシは必ず偶数になる!?



トウモロコシを割って、一周りに何粒あるか数えてみますと、どのトウモロコシも16粒とか18粒でした。どのトウモロコシもです!!絶対偶数になっているんです。どうしてか?と問うと、誰も分かりませんでした。よく見てみると、粒の根本が「Vの字」になっているのが分かります。そうなんです。



1点から2本の軸が伸びていて、その先にコーンがなっているんです。これを知った5年生のみんなは本当にびっくりしていました。だから虫食いや抜けがなくびっしり実がついていれば絶対偶数粒になっているわけです。このことをヒントにして、1本のトウモロコシに何粒の実がついているか予想をしました。

$$\boxed{1周の粒の数 \times たて列 = 全部の数}$$

でおおよその粒の数を概算しました。

予想はみんな偶数になると思っていたのですが、奇数の班もありました。かけ算をすれば...を思っていたら、なにやら引き算をしている班もありました。工夫を凝らして時間をかけ、なかなか予想数が上がってこない班がありました。それは、実がなっていない部分まで計算し、予想数から引いていることや、虫食いや腐食しているものを省いている班でした。トウモロコシの数当てだけに本当にいろいろな考えが班の中であり、本当に面白い時間でした。これを思考力といってもいいのかわかりませんが、

い組	予想	結果	ろ組	は組
1班	528こ	→572こ	510こ	→566こ
2班	756こ		482こ	466こ
3班	672こ		530こ	576こ
4班	650こ		512こ	586こ
5班	672こ	→450こ	616こ	→545こ
6班	672こ		492こ	→604こ
7班	658こ		468こ	628こ
8班	608こ		410こ	593こ
			→538こ	→441こ
				630こ
				→484こ

ですが、予想にじっくりと班で意見を出し合いながら、考えている班が多かったです。ろ組の5班はほぼぴったり予想し、驚きました。「ピッタリ賞や!」と言ったら「ニアピン賞や!!」と言った子がいて、大盛り上がりでした。結果は黒板に全クラス残しておきました。は組の1班は7個の違い。ろ組5班は6個の違い。優勝は、ろ組5班☆というわけです。始めたときは競うことなんて頭になかったですが、クラスが変わるごとに、「数を当てたい!」となり、予想時間がどんどん伸びていったように思います。入り授業や専科教員による授業、教科担任制のメリットを感じました。

※結果が未記入の班は、持って帰る自分の分の数を数えたり、一人分の重さを電子てんびんで測ることに夢中になったり、結果はどうでもよくなったようです...笑



数え方も5年生になると班それぞれに工夫が見られました。一人25g前後を持って帰っていただきました。150~200粒くらいです。何人もの子が、ピーカーでポップコーンを作った後に、「家で作って食べたい!」「持って帰りたい!」とのことでしたので、みんなに持って帰っていただくことにしました。